

地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年から3年です。この制度は2009年にスタートし、令和4年度の取組団体数（受入自治体数）は1,116団体で、6,447名の隊員が活動しています。

（出典：総務省HP、地域おこし協力隊 <https://www.chiikiokoshitai.jp/about/>）

小川町の地域おこし協力隊

小川町は令和元年10月から地域おこし協力隊制度を導入しており、現在は記載の隊員に加え、4月から新たに隊員が加わり、8名の隊員が活動しています。

地域の魅力向上推進員

木谷 海斗（令和3年4月から活動）

- ・第3期若者未来会議の運営支援及びその他イベントへの参加協力
- ・「小川町情報 スモリバ」等を活用した積極的な情報発信

三宅 佳奈（令和5年4月から活動）

- ・石蔵コワーキングロビーNESToの運営支援及び利用促進並びに新しい働き方PR
- ・NESToの利用者、入居企業及び地域住民の連携促進（各種イベント、事業の企画運営等）

二之宮 宏人（令和5年4月から活動）

- ・移住・定住に関する相談受付、イベント企画・運営等
- ・移住等に関する調査及び収集した情報の発信

農業振興推進員

泉地 春香（令和4年10月から活動）

- ・地元農業の推進、情報発信、プロモーション活動
- ・地元農産物のPRイベント等の企画、運営

地域PR推進員

小林 信之（令和2年10月から活動）

- ・地域の情報発信と地域資源の掘り起こし等
- ・卒業証書受注納品管理の支援

平岩 寿之（令和2年10月から活動）

- ・地域の情報発信に関する活動
- ・地域資源の掘り起こし及び活用に関する活動
- ・地域資源の映像・デザインによる宣伝活動

観光推進員

徳竹 功（令和5年9月から活動）

- ・観光案内所での観光案内及び特産品等の案内活動